

2016/5/20

## NMR 共用プラットフォーム 利用課題の募集（平成 28 年度第 1 回）

理化学研究所 木川隆則

### 1. 概要

先端的な NMR 設備と関連技術を有し共用取組に対しても十分な経験を有する NMR 施設を持つ機関である国立研究開発法人理化学研究所、公立大学法人横浜市立大学、国立大学法人大阪大学、国立大学法人北海道大学（以下、「4 機関」という）は、NMR 装置メーカー 2 社とともに、NMR 技術領域の研究開発基盤である「NMR 共用プラットフォーム」を形成しました。

これまで我々は、最先端技術開発の動向を踏まえた研究開発と人材育成を支える取組を、他の施設との連携協力関係を築きながら全国的な取り組みへと発展させ NMR 技術領域の利用と発展を先導するとともに、最先端技術開発の基盤を作り、ユーザーニーズを的確に反映させた技術開発に資する存在となることを目指して活動してきました。今後は、これまでの実績を基に「高度利用支援体制」の拡充を進め、産学官に開かれた共用による NMR 技術を活用したイノベーション創出をさらに加速するとともに、「開発」と「利用」を結びつける「場」の形成、「知」の集積と共有、「人材」の育成、「国内外との連携」関係の拡大、に取り組むことにより、日本の NMR 研究開発の持続的な維持・発展を先導する技術プラットフォームとなることを目指します。

代表機関、実施機関の 4 機関による運営委員会を設置して NMR 利用サービスの更なる質の向上に努めるほか、NMR 技術領域の飛躍的な発展に資する課題を実施するための「最先端利用開発」利用枠の設置、最先端の技術や先端的な NMR 装置・技術を活用したイノベーションを創出するための、装置・技術開発に関する施策やプログラムとの協調連携、特定の利用分野の大型プログラムと連携しその政策効果を高めることを目的とした「連携」利用枠の設置、NMR 技術領域内外の学生、アカデミア研究者、企業研究者の NMR の教育・学び直し、日本電子株式会社、ブルカー・バイオスピン株式会社との協力体制のもと、NMR 共用プラットフォームの高度技術支援者の技術・知識の維持・向上を目的とした人材の育成、広報・連携・ネットワーク構築等に取り組めます。

### 2. 「最先端利用開発」利用枠

最先端の NMR 装置を利用した先端的かつ新規の測定技術の開発や、NMR 共用プラットフォーム全体における測定技術等の向上を目指した課題を募集します。是非、この機会に申請ください。

### 3. 募集期間

平成 28 年 5 月 20 日から平成 28 年 6 月 24 日まで

#### 4. 応募方法その他詳細

<http://nmrpf.jp/request.html>

をご覧ください。

#### 5. お問い合わせ先

複数機関の利用実施、制度に関わるお問い合わせは、下記の連絡先にお問い合わせ致します。

● NMR 共用プラットフォーム

<http://nmrpf.jp/contact.html>

各機関へのお問い合わせ先

● 国立研究開発法人 理化学研究所 横浜キャンパス ライフサイエンス技術基盤研究センター NMR 施設開放担当

[ynmrpf@riken.jp](mailto:ynmrpf@riken.jp)

● 公立大学法人 横浜市立大学 研究推進部

[kenkyu@yokohama-cu.ac.jp](mailto:kenkyu@yokohama-cu.ac.jp)

● 国立大学法人 大阪大学 蛋白質研究所 NMR 装置群外部利用担当

[nmrkaihou@protein.osaka-u.ac.jp](mailto:nmrkaihou@protein.osaka-u.ac.jp)

● 国立大学法人 北海道大学大学院先端生命科学研究院 先端 NMR ファシリティ共有事業担当

[nmrfacility@mail.sci.hokudai.ac.jp](mailto:nmrfacility@mail.sci.hokudai.ac.jp)